

135

44



明治廿三年四月十二日印刷

明治廿三年四月十二日出版屆

明治廿三年
三月現行
地租規費要令

發行所

伊豫松山市樓町

向陽社

033179-000-6

CZ-1366-99-04

地租規費要令

明治二十三年三月一日現行

向陽社

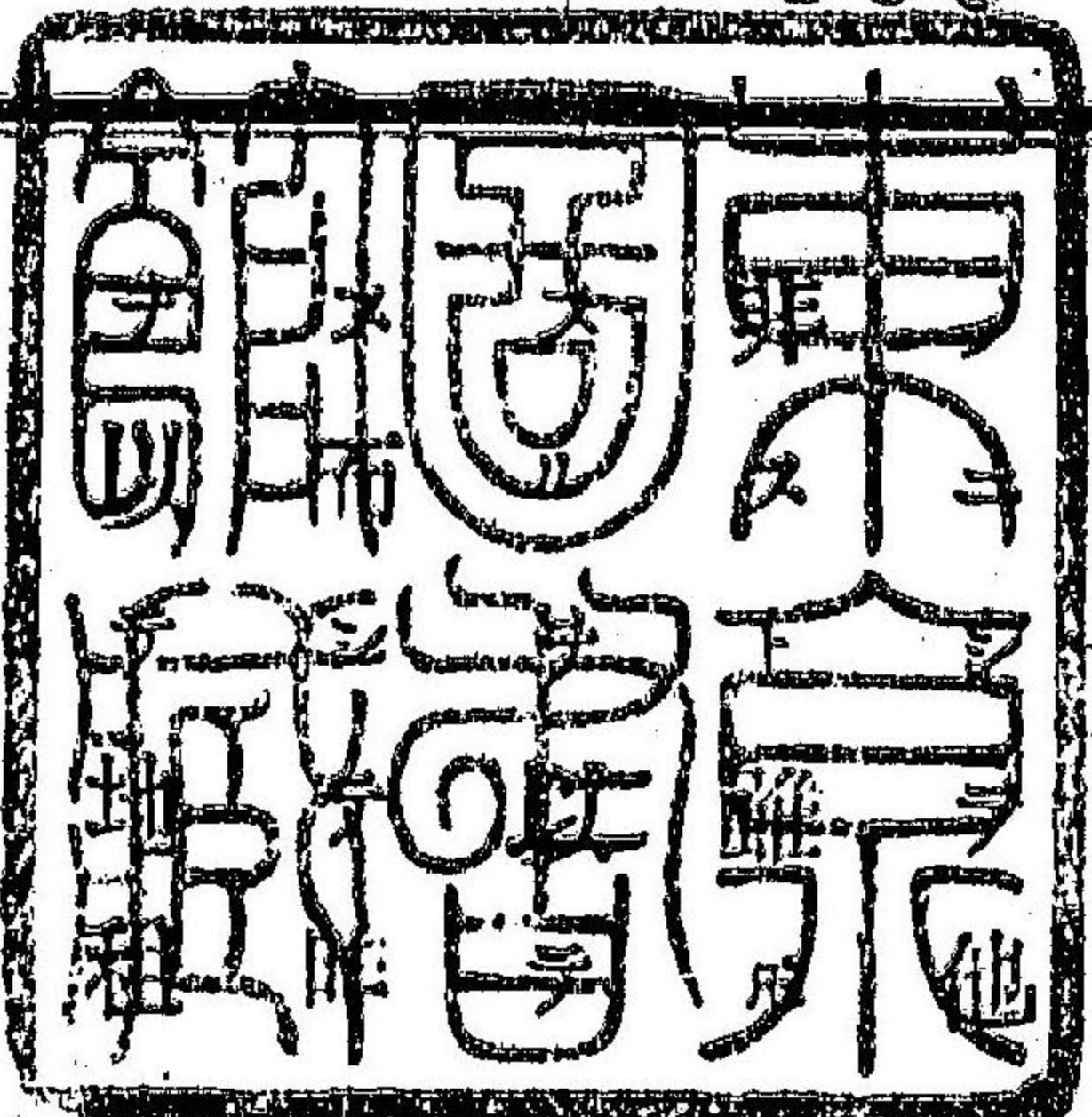
M23

BBJ-0493



CZ
1366
99-04

C2
1366
99-04
特50
556
No 3019/23



緒言

地租ニ關スル條規令達タルヤ固ヨリ單



ノ法律規則ノ如ク煩雜ナルモノニ
其發令ノ時日ニ於ケル數年ニ亘連
其間改廢變更ノ條項蓋シ尠シトモ
明治二十二年ニ至リ法律第三十號
條例改正ノ舉アリ爰ニ於テ編者地
租條規編纂ノ必要ヲ感シ將リニ其稿ヲ起サン
トスルニ方リ復タ愛媛縣令第十四號ノ發令ア
リ依テ其關係法規ヲ輯メ之レヲ一小冊子ニ編

ミ以テ土地所有者諸君ノ閱覽ニ便ニシ併セテ
 收税官衙及ヒ市町村役場執務ノ便益ニ供セン
 トス若シ夫レ植字ノ誤脱編纂ノ粗漏アルニ至
 ツテハ看官諸君幸ヒニ叱正ノ勞ヲ吝ム莫レ

明治二十三年三月

編者識

地租條規纂要目次

第一	地所名稱區別	一丁
第二	地租條例	四丁
第三	地租條例施行細則	十一丁
第四	地租條例及細則ニ關スル府縣取扱方訓令	十四丁
第五	全上人民心得方縣令	十六丁
第六	買上地拂下地潰地等收税除稅區分	四十五丁
第七	地目變換地檢査區域	四十六丁
第八	地租徵收期限	全丁
第九	土地臺帳規則	四十七丁
第十	全施行細則	四十九丁
第十一	地租事務取扱手續	五十丁
第十二	土地分合筆ニ關スル心得方縣令	五十二丁

目次畢

○地所名稱區別

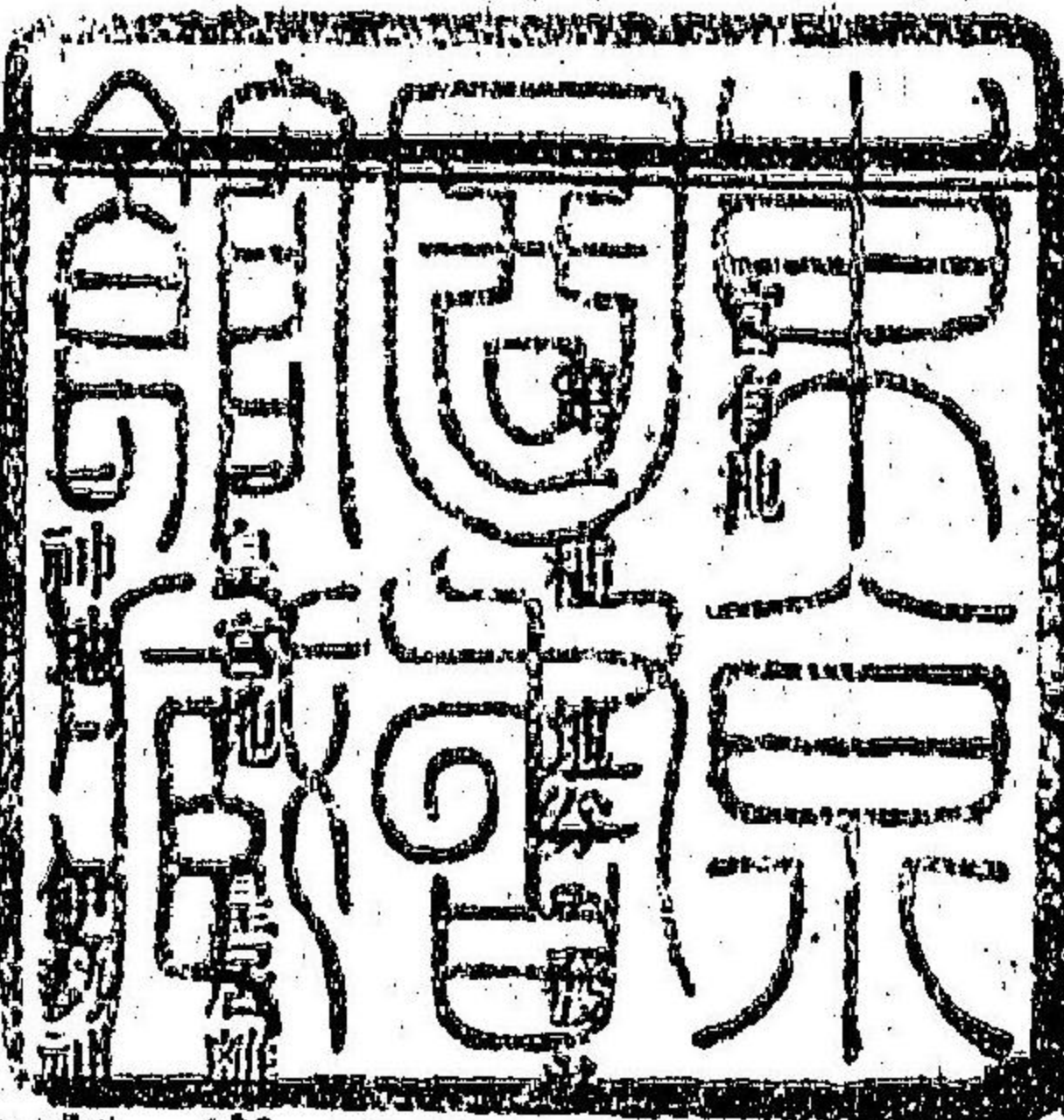
明治七年十一月
布告第百二十號

明治六年三月第一四號布告地所名稱區別左之通改定候條此旨布告候事

二十二年三月法律第十三號ヲ以テ
地券ヲ廢ス

ス地租ヲ課セス地方稅ヲ賦セサルヲ法トス

十二年九月第三十四號布告ヲ以テ
(區入費)ヲ(地方稅)ト改ム



皇宮御所等ヲ云フ

神戶御所 山陵官國幣社府縣社及ヒ民有ニアラザル社地ヲ云

第二種 地券ヲ發シ地租ヲ課セス地方稅ヲ賦セサルヲ法トス尤モ府縣所用ノ地ハ地

券ヲ發セズ唯帳簿ニ記入ス 八年七月第百十四號布告ヲ以テ改正十二年九月

第三十四號布告ヲ以テ(區入費)ヲ賦スル(地

方稅)ヲ賦セサルト改ム
但此地ニ在ル官舎ヲ貸渡ス時ハ借地料ヲ賦スヘシ

一皇族賜邸

一官用地 官院省使寮司府藩縣本支廳裁判所警視廳陸海軍本分營其他政府ノ許可
ヲ得タル所用ノ地ヲ云

第三種 地券ヲ發セズ地租ヲ課セス地方稅ヲ賦セサルヲ法トス

但人民ノ願ニヨリ右地所ヲ貸渡ス時ハ其間借地料ヲ納メシムヘシ

十二年九月第三十四號布告ヲ以テ(借地料)ノ下(及ヒ)以下十
字ヲ(納メシムヘシ)ト改メ本文(區入費)ヲ(地方稅)ト改ム

一山岳丘陵林敷原野河海湖沼池澤溝渠堤塘道路田畑屋敷等其他民有地ニアラサル
者

一鐵道線路敷地

一電信架線柱敷地

一燈明臺敷地

一各所ノ舊跡名區及ヒ公園等民有地ニアラサル者

一人民所有ノ權利ヲ失セシ土地

一民有地ニアラサル堂宇敷地及ヒ墳墓地

一行刑場

第四種 地券ヲ發セズ地租ヲ課セス地方稅ヲ賦セサルヲ法トス (同上區入費ヲ賦ス
ル)ヲ(地方稅)ト改ム

改ム

一寺院大中小學校說教場病院貧院等民有地ニアラサルモノ

民有地

第一種 地券ヲ發シ地租ヲ課シ地方稅ヲ賦スルヲ法トス (同上(區入費)ヲ
(地方稅)ト改ム)

一人民各自所有ノ確証アル耕地宅地山林等ヲ云

但此地賣買ハ人民各自ノ自由ニ任スト雖ニ潰シ地開墾等ノ類キ大ニ地形ヲ變

換スルハ官ノ許可ヲ乞フヲ法トス

一人民數人或ハ一村或ハ數村所有ノ確証アル學校病院郷倉牧場秣場社寺等官有地

ニアラサル土地ヲ云 從前第二種九年六月第八十八
號布告ヲ以テ第一種ニ合ス

但此地賣買ハ其所有者一般ノ自由ニ任スト雖ニ潰地或ハ開墾等ノ類キ大ニ地

形ヲ變換スルハ官ノ許可ヲ乞フヲ法トス

第二種 地券ヲ發シテ地租地方稅ヲ賦セサルヲ法トス 八年七月第百十四號布告ヲ以
テ第三種ヲ改正シ九年六月第

八十八號布告ヲ以テ第二種トナス十二年九月第三十四號布告ヲ以テ(區入費)ヲ(地方稅)ト改ム

一官有ニアラサル鄉村社地及墳墓地等ヲ云

一民有ノ用惡水路溜池敷地敷及井澤敷地 八年十月第百五十四號布告ヲ以テ本項追加

一公衆ノ用ニ供スル道路 十三年十月第四十三號布告ヲ以テ本項追加ス

但其地形ヲ變換スル時ハ管轄廳ノ許可ヲ請フヘシ

○地租條例 明治十七年三月 布告第七號

地租條例別冊ノ通制定シ明治六年(七月)第貳百七拾貳號布告地租改定條例及地租改正ニ關スル條規其他本條例ニ抵觸スルモノハ廢止ス

但東京府管轄伊豆七島小笠原島函館縣沖繩縣札幌縣根室縣ハ當分從前ノ通ナルヘシ 右奉 勅旨布告候事

(別冊)

地租條例

第一條 地租ハ地價百分ノ二箇半ヲ以テ一年ノ定率トス

但本條例ニ地價ト稱スルハ土地臺帳ニ掲ケタル價額ヲ謂フ 明治廿二年十一月法律 第卅號ヲ以テ但書改正

第二條 地租ハ年ノ豐凶ニ由リテ増減セス

第三條 有租地ヲ區別シテ二類トナス

第一類 田、畑、郡村宅地、市街宅地、鹽田、鑛泉地、

第二類 池沼、山林、牧場、原野、雜種地、 明治廿二年十一月法律 第三十號ヲ以テ改正

第一類中又ハ第二類中ノ各地目變換スルモノヲ地目變換ト謂フ

第二類地ニ勞費ヲ加ヘ第一類ト爲スモノヲ開墾ト謂フ

第一類地又ハ第二類地ノ山崩、川欠、押堀、石砂入、川成、海成、湖水成、等ノ如キ天災

ニ罹リ地形ヲ變シタルモノヲ荒地ト謂フ

第四條 公立學校地、鄉村社地、墳墓地、用惡水路、溜池、堤塘、井濇、鐵道用地、禁伐林及

公衆ノ用ニ供スル道路ハ地租ヲ免ス 明治廿二年十一月法律 第三十號ヲ以テ改正

第五條 土地ノ丈量ハ曲尺ヲ用ヒ六尺ヲ間ト爲シ方音間ヲ以テ歩ト爲シ三拾步ヲ畝ト

爲シ拾畝ヲ段ト爲シ拾段ヲ町ト爲ス但市街宅地ハ方音間ヲ以テ坪ト爲シ坪ノ拾分一

ヲ合ト爲シ合ノ拾分一ヲ勾ト爲ス

第六條 地價ヲ定メ又ハ地價ヲ修正スルハ地盤ノ丈量ス 明治廿二年十一月法律 第三十號ヲ以テ改正

第七條 地價ハ地目變換、開墾又ハ第一類地ヲ第二類地ニ變換シタルハ非ヤレハ之ヲ修正セズ 明治廿二年十一月法律 第三十號ヲ以テ改正

第八條 一般ニ地價ノ改正ヲ要スルトキハ前以テ其旨ヲ布告スヘシ

第九條 地價ハ其地ノ品位等級ヲ詮定シ其所得ヲ審査シ尙ホ其土地ノ情況ニ應シ之ヲ定ム

第十條 地目ヲ變換シ若シハ第一類地ヲ第二類地ニ變換シタルハ地方廳ニ届出ツヘシ 明治二十二年十一月法律 第三十號ヲ以テ全條改正

地目變換ノ土地ハ五年以内ニ於テ地價ヲ修正シ六年目ヨリ修正地價ニ依リ地租ヲ徵收ス但第十條第六項ノ場合ハ此限ニ在ラス

第十一條 第一類地ニ變換シタルモノハ五年間其ノ價ヲ据置六年目ニ至リ之ヲ修正ス 第十條 免租地ヲ有租地ト爲サントスルトキハ地方廳ノ許可ヲ受クヘシ地價ハ其地

ノ現況ニ依リ之ヲ定ム

第十二條 地租ハ土地臺帳記名者ヨリ徵收ス但買入ノ土地ハ其買取主ニ於テ之ヲ納ムヘシ 明治廿二年十一月法律 第三十號ヲ以テ改正

第十三條 有租地ヲ公立學校地、鄉村社地、墳墓地、禁伐林ト爲ストキハ其地租ハ許可又ハ命令ヲ受タル月分ヨリ月割ヲ以テ之ヲ免シ用惡水路、溜池、堤塘、井溝、鐵道用地及ヒ公衆ノ用ニ供スル道路ト爲ストキハ其地租ハ工事着手ノ月分ヨリ月割ヲ以テ之ヲ免ス 明治二十二年十一月法律 第三十號ヲ以テ改正

免租地ヲ有租地ト爲ストキ其地租ハ許可ヲ得シ翌月分ヨリ月割ヲ以テ徵收ス

第十四條 地價修正ノ土地ハ其年ヨリ修正地價ニ依リ地租ヲ徵收ス但第十條第二項ノ場合ハ此限ニ在ラス 明治二十二年十一月法律 第三十號ヲ以テ改正

第十五條 荒地又ハ新開地ハ免租年期明ノ翌年分ヨリ地租ヲ徵收ス 全上

第十六條 開墾ヲ爲サントスルハ地方廳ニ届出ヘシ 明治二十二年十一月法律 第三十號ヲ以テ全條改正 前項ノ開墾地ハ開墾着手ノ年ヨリ十年目ニ其成功ノ部分ニ對シ地價ヲ修正ス

十年以内ニ成功シ能ハサル開墾ヲ爲サントスルトキハ地方廳ニ願出鐵下年期ノ許可ヲ受シヘシ鐵下年期ハ三十年以内トス但年期中ハ原地價ニ依リ地租ヲ徵收ス

官有地ヲ開拓シテ民有ニ歸セシ土地ハ其素地相當ト認ムル所ノ地價ヲ定メ尙ホ十年以内ノ鐵下年期ヲ許可ス但年期中ハ現定地價ニ依リ地租ヲ徵收ス

官有ノ水面ヲ埋立民有ニ歸セシ土地ハ五十年以内ノ新開免租年期ヲ許可ス

耕地ノ區畫若シハ形狀ヲ變更スル爲メ又ハ地目ヲ變換スル爲メ開墾ニ等シキ勞費ヲ要スルモノハ本條第三項ニ準シ三十年以内ノ地價据置年期ヲ許可スルコトアルヘシ

第拾七條 明治二十二年十一月法律第三十號ヲ以テ削除

第拾八條 第拾六條第三項第四項第五項ノ年期明ニ至リ事業成功ニ至ラサル者ハ更ニ

二十年以内ノ繼年期ヲ許可ス 明治廿二年十一月法律第三十號ヲ以テ改正

第拾九條 鐵下年期明地價据置年期明新開免租年期明ノ其地價ヲ定メ又ハ修正ス

第二十條 荒地ハ其被害ノ年ヨリ十五年以内免租年期ヲ定メ年期明ニ至リ原地價ニ復

明治二十二年十一月法律第三十號ヲ以テ全條改正

海嘯ノ爲メ潮水浸入シ作土ヲ損害シタルモノハ其狀況ニ依リ前項ニ準據スルコトアルヘシ

第廿一條 荒地免租年期明ニ至リ其地ノ現況原地價ニ復シ難キモノハ十五年以内七割

以下ノ低價年期ヲ定メ年期明ニ至リ原地價ニ復ス

第廿二條 低價年期明ニ至リ尙ホ原地價ニ復シ難キモノ及ヒ荒地免租年期明ニ至リ原

地目ニ復セズ他ノ地目ニ變スルモノハ其地ノ現況ニ依リ地價ヲ定ム

第廿三條 免租年期明ニ至リ尙ホ荒地ノ形狀ヲ存スルモノハ更ニ十五年以内免租繼年

期ヲ定ム其年期明ニ至リ原地價ニ復シ難キモノハ第廿一條第二十二條ニ依リ處分ス

全上

第廿四條 川成、海成、潮水成、ニシテ免租年期明ニ至リ原形ニ復シ難キモノハ更ニ二

十年以内免租繼年期ヲ許可ス其年期明ニ至リ尙原地目ニ復セズ他ノ地目ニ變セサル

モノハ川、海、湖、ニ歸スルモノトス

第廿五條 土地ヲ欺隱シ地租ヲ遁脱スルモノハ四圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處シ現地

目ニ依リ地價ヲ定メ欺隱年間ノ地租ヲ追徴ス但シ發覺ノ日ヨリ三年以前ニ溯ルコトヲ得ヌ
明治廿二年十一月法律第三十號ヲ以テ但書改正

第廿六條 第十一條ニ違犯スルモノハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處シ且現地目ニ依リ地價ヲ定メ其地租ヲ追徴ス但發覺ノ日ヨリ三年以前ニ溯ルコトヲ得ヌ
明治廿二年十一月法律第三十號ヲ以テ改正

第廿七條 第十條第一項第十六條第一項ニ違犯スルモノハ一圓以上壹圓九十五錢以下ノ料料ニ處ス其開墾ノ届出ヲ爲サハルモノハ現地目ニ依リ地價ヲ定メ其地租増額ヲ追徴ス但發覺ノ日ヨリ三年以前ニ溯ルコトヲ得ヌ
全上

第廿八條 第廿五條以下ノ所犯借地人、小作人、ノ所爲ニ係リ所有者其情ヲ知ラサルトキハ其借地人、小作人ヨリ罰シ地租ハ所有主ヨリ追徴ス

第廿九條 第廿五條第廿六條第廿七條第廿八條ノ刑ニ當ルモノ自首スルトキハ其罰金料料ヲ免ヌ但其追徴スヘキ地租ハ仍ホ之ヲ納メシム

○地租條例施行細則
明治二十二年十二月
大藏省令第十九號

地租條例施行細則左ノ通定ム

地租條例施行細則

第一條 條例第三條中第二類牧場ハ牧畜場用ノ土地ニシテ一區域ヲ爲ス土地トス

第二條 條例第四條中免租ノ制限左ノ如シ

公立學校地ハ校舍建設アル一構内ノ土地及授業上ニ必要ナル土地又ハ公立農學校ニ於テ實驗用ニ供スル五町歩以内ノ土地ニシテ借地ニ非サルモノニ限ル

鄉村社地ハ鄉村社ノ現境内ニシテ該社有ノモノニ限ル

禁伐林ハ明治十七年大收官布達第三號ニ據リ樹木斫伐停止ノ土地

鐵道用地ハ明治二十年勅令第十二號私設鐵道條例第八條ノ土地

第三條 條例第五條ノ丈量ヲ爲スニ方リ尺度ノ用法ハ左ノ如シ
一間未滿ノ尺度ハ六尺ノ十分ノ一ニ分ト爲シ十分ノ一分一ヲ厘ト爲シ丈量ノ際端尺三寸ヨリ五尺七寸迄三寸ヲ増ヌ毎ニ六寸ノ數ニ適セサルモノハ之ヲ切捨テ五厘ニ止メ其積算上ニ於テ一步未滿ヲ切捨ツ可シ但一筆ノ土地ニシテ一步未滿ナルモノハ勾位

迄ヲ用ユ

市街宅地ノ丈量ハ厘未滿ヲ切捨テ厘位ニ止シ其積算上ニ於テ一勾未滿ヲ切捨テ勾位ニ止ム

第四條 條例第六條ノ丈量ハ所有主之ヲ爲シ地方廳其常否ヲ換查ス但本條ノ場合ニ於テ一筆ノ土地ヲ分裂シ又ハ二筆以上ノ土地ヲ合併スルトキハ其殘地若シハ全部ヲ丈量シ其二類地ニ係ルモノハ適宜之ヲ省畧スルコトヲ得

第五條 地盤ヲ丈量スルニハ三斜法ヲ用ユ但山林原野等ハ其地形ニ依リ適宜ノ方法ヲ以テ丈量スルコトヲ得

第六條 田畑ハ畦畔際ヨリ宅地ハ境界線ヨリ丈量ス

第七條 田畑ノ畦畔ニシテ其所有主自由ニ變更ス可キモノハ之ヲ本地ニ量入シ其常ニ變更セサルモノハ之ヲ除却シ其步數ヲ外書トス

畑宅地ノ一筆地ノミニ通スル道路及ヒ一筆内ニシテ其所有主便宜ニ設クル小逕ノ類ハ總テ本地ニ量入ス

畦高ノ地其畦脚中ノ鍬入ニ必要ナル土地ハ之ヲ本地ニ量入シ其畦脚ニシテ相當ノ收利アルモノハ之ヲ本地ニ量入シ若クハ別ニ一筆地トス

田畑宅地内ニ別地目ノ瑣少ナルモノ及在スルトキハ之ヲ本地ニ量入シ内書トス

第八條 地價ヲ定メ又ハ修正スヘキ土地ハ所有主ニ於テ近傍類地ト其地方ヲ比較シ又實地ノ情況ニ依リ相當ノ地位等級ヲ調ヘ其願屆書ニ記入スルモノトス

前項ノ場合ニ在テ所有主多數ナルトキハ其所有主中ヨリ二名以上ノ總代人ヲ撰ニ調理セシムルコトヲ得

前項ノ地價ハ地方廳ニ於テ檢査ノ上之ヲ定ム

第九條 條例第十條第二項ノ土地ハ府縣知事ニ於テ豫メ管内ヲ五區域ト爲シ毎年其區域ヲ檢査シ五箇年ヲ以テ全管ヲ檢了ス可シ但地價ハ檢査ノ當年ニ於テ修正ス

第十條 條例第十三條第一項末段ノ土地ハ工事ニ着手セシ一筆地限リ其月ヨリ免租ス

第十一條 條例第十六條第二項ノ土地ハ同條第一項屆書ニ開墾着手ノ年月ヲ記載スヘ

第十二條 條例第十六條第三項第四項第五項第六項及第二十條年期ノ長短ハ其事業ノ難易被害ノ深淺ニ依リ府縣知事之ヲ定ム

第十三條 條例第十八條第二十一條第二十三條第二十四條年期ノ長短ハ實地ノ狀況ニ因リ府縣知事之ヲ定ム

第十四條 條例第二十六條第二十七條ノ追徴租額ハ犯罪發覺ノ日即チ其月分ヨリ計算ス

第十五條 條例中地方廳ニ差出スヘキ願届書式ハ府縣知事之ヲ定ム

○地租條例及ヒ同細則ニ關スル府縣取扱方訓令

明治二十二年十二月
大藏省訓令第七十六號

地租條例及地租條例施行細則取扱方左ノ通心得可シ

第一條 條例第三條ノ牧場ニシテ從來敷地目ニ分割取調タルモノハ訂正ノ手續ヲ爲サシム可シ但摺乳營業ノ爲メ獸類ヲ豢養スル場所ハ此限ニ在ラス

第二條 條例第十三條ノ禁伐林ニシテ既ニ其命令アルモノハ條例施行ノ月ヨリ其地租

ヲ免除スヘシ

第三條 施行細則第四條ノ検査ヲ爲スニ方リ官ノ地圖ト實地トヲ照査シ其齟齬ナキヲ視認メタル上着手ス可シ但丈量検査ニ要スル器械ハ收稅官吏携帶ス可シ

第四條 條例第十條第二項ノ土地ハ其願届書ヲ検査區域毎ニ編綴シ置キ其地價修正シタル市町村限リ變換ノ年度ヲ區分シ六箇年目ヨリ追次賦租スヘキ地目變換地臺帳ヲ調製シ置クヘシ

第五條 條例第十條第三項ノ變換及條例第十六條第二項ノ開墾届出アルトキハ市町村限各其臺帳ヲ調製シ地價修正ノ年限ヲ記入シ置クヘシ

第六條 條例第十六條第三項十五年以上ノ年期及第六項第十八條第二十條第二項ノ土地ニ對シ年期ヲ附與スヘキモノト視認ムルトキハ其狀況ヲ具シ當省ニ稟議スヘシ

第七條 地盤ヲ丈量シタルモノハ其願届書ニ丈量野取圖ヲ添附セシムヘシ

第八條 條例第二十四條ノ荒地ニシテ川海湖ニ歸シタル土地アルトキハ地租組換ノ手續ヲ爲ス可シ

第九條 各地目中ニ包含セ、現地名稱ハ土地臺帳地目欄内本地目ノ傍ニ記入ス可シ

○地租條例及ヒ同細則ニ關スル人民心得方縣令

明治二十三年二月
愛媛縣令第十四號

地租條例及地租條例施行細則ニ關スル心得方左之通之ヲ定ム但明治十七年六月甲第百十號布達全十九年一月甲第二號布達ハ廢止ス

第一條 總テ地價ヲ定メ又ハ地價ヲ修正スルニ方リ地盤ヲ丈量スル中ハ第一號樣式ニ準シ野取圖ヲ調製シ其願屆書ニ添付スヘシ

第二條 總テ地價地租ヲ算出スルニハ左ノ方法ニ據ルヘシ

地價金ハ反別畝未滿ノ步數ヲ三除シ畝ノ次位ヨリ三位迄ヲ取り之レニ其地ニ相當スル等級ノ一反步當リ地價金ヲ乘シ而シテ其厘位以下ハ之レヲ切捨テ錢位ニ止ム

市街宅地ノ地價金ハ坪數ヘ直ニ其地ニ相當スル等級ノ百坪當リ地價金ヲ乘シ而シテ其厘位以下ハ之レヲ切捨テ錢位ニ止ム

地租ハ地價金ニ定率ヲ乘シ四捨五入シテ厘位ニ止ム

第三條 一筆中幾部分荒地成官有地成地目變換若シハ畦畔新設等ノ爲メ異動アルモノ

ハ先ツ其殘地ヲ丈量シテ反別ヲ求メ相當等級ノ一反步當リ地價金ニヨリ地價地租ヲ算出シ全筆ノ内ヨリ之レヲ引去リ以テ異動部分ノ反別地價地租ト爲スヘシ

第四條 第一類地ヲ第二類地ニ變換シタルモノ五ケ年以内ニ於テ舊地目ニ復シ又ハ他ノ一類地目ニ變シタルキハ最前ノ屆書取消ノ義申出他ノ二類地目ニ變シタルキハ更ニ地價取調最前ノ屆書更正ノ義申出スヘシ但他ノ一類地目ニ變シタルモノハ其際猶

地目變換届出ノ手續ヲ爲スヘシ

第五條 實地檢査ヲ爲ストキハ地主若シハ地主總代人ノレニ立會スヘシ

第六條 反別地價地租ノ増減其他土地ノ異動ニ關スル諸願届ハ第二號以下ノ樣式ニ準據スヘシ但總代人又ハ地主ノ連署ヲ以テヌルトキハ各其樣式ノ下端ニ地主名ノ一欄

ヲ設ケ其氏名ヲ記載スヘシ

第七條 前條ノ願届書ハ左ノ期限ニヨリ差出スヘシ

一 地目變換届 (樣式第二號)

本條各項
ノ下條式
番號ハ即
令達ニ即
申出スル
モ
申出スル
者ノ
便
ナラシメ

一第一類地ヲ第二類ニ變換届 (全第三號)

一開墾届 (全第六號)

一開墾後下年期明 (全第八號)

一荒地免租年期願 (全第十六號)

一耕地ノ區畫變更等ノ爲メ地價据置年期願 (全第十一號)

一官有地開拓民有地ニ歸セシ土地後下年期願 (全第九號)

一水面埋立地新開免租年期願 (全第十號)

一畦畔廢設届 (全第二十二號)

右其時々

一民有地種組替、官有地拂下、全下渡ヨリ有租地成届 (全第四號)

一免租地成届 (全第五號)

一官有地成届 (全第五號)

右地種組替許可又ハ命令、地代金上納、土地下渡、許可ノ日ヨリ十五日以内

一開墾地成功届 (様式第七號)

右開墾着手ノ年ヨリ十ヶ年目一月三十一日限リ

一後下年期明、新開免租年期明、地價据置年期明届 (様式第十二號)

一後下年期、新開免租繼年期願 (全第十三號)

(全第十四號)

一改租以前ノ開墾地ニシテ無地價ノモノ繼年期願 (第十五號)

一荒地免租年期明届 (全第十七號)

一荒地免租年期明ノ土地低價年期願 (全第十八號)

一低價年期明届 (全第十九號)

一荒地免租繼年期願 (全第二十號)

一荒地免租繼年期明海成川成届 (全第二十一號)

右各年期明ノ年一月三十一日限リ

第八條 一類地ノ内書ニ記載セル木生地、草生地、堀溜池等ニシテ本地ト共ニ變換スルモノハ開墾及ヒ素地賦租等ノ手續ヲ要セス本地ト共ニ其變換ヲ届出スヘシ

備考

第二號備考ニ全シ

(第四號)

民有地種組替(官地)拂下(有租地成届)

民有地種組替(官地)拂下(御許可ノ地所反別地價別紙ノ通取調候間賦租相成度野取圖添付此段御届仕候也 (以下第二號書式ニ全シ)

備考

民有地種組替地拂下地下渡地ニ各別紙ニ調製スヘシ

(第四號附屬)

民有地種組替(官地)拂下(有租地成反別地價取調書) 地元

字番	元地目	賦租	反別地價	地租	比準地番等級及反價金	民有第一種地ニ編入年月
〇溜池	畑	内、丈量	、	、	、	何年何月
〇公立學校敷	郡村宅地	外、丈量	、	、	、	、
〇堤塘	草生地	、	、	、	、	、

右之通ニ候也

(以下第二號書式ニ全シ)

備考

拂下地下渡地ノ取調書ハ元地目ノ欄ヲ省シヘシ

(第五號)

免租地(官有地)成届

免租地成御許可(官有地成御處分濟)ノ地所反別地價別紙之通取調候間(除)租相成度野取圖添付此段御届仕候也 (以下第二號書式ニ全シ)

備考

免租地成官有地成ハ各別紙ニ調製スヘシ

全筆ノモノハ野取圖添付ニ取ハス

(第五號附屬)

免租地(官有地)成反別地價取調書

地元

字番	地目	反別地價	地租	等級反價金	事由
〇畑	、	、	、	〇	墓地成(何年何月何日)地種組替

第二號備考ニ全シ

(第九號)

開拓地賦租並繳下年期願

地元

字	開拓	賦租	反	別	地	價	地	租	比準地番等級	繳下年期
田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田
畑	畑	畑	畑	畑	畑	畑	畑	畑	畑	畑
草生地	草生地	草生地	草生地	草生地	草生地	草生地	草生地	草生地	草生地	草生地

右、官有地ヲ開拓シ向年何月ヨリ民有地ニ御處分濟ニ付反別及素地目相當之地價並
 繳下年期前書ノ通知調候間該地價ニ依リ賦租ノ上年期御許可被成下度野取圖添付此
 段相願候也
 (以下第二號書式ニ全シ)

(第拾号)

新開免租年期願

地元

字	新開	免租	反	別	年	期
田	田	田	田	田	田	田
畑	畑	畑	畑	畑	畑	畑

右、官有ノ水面ヲ埋立何年何月ヨリ民有地ニ御處分濟ニ付前書ノ通新開免租年期御
 許可被成下度此段相願候也 (以下第二号書式ニ全シ)

(第拾一号)

地價据置年期願

地元

字	地	目	變換	反	別	年	期
田	田	田	田	田	田	田	田
畑	畑	畑	畑	畑	畑	畑	畑
○ 郡村宅地	田	田	田	田	田	田	田

右之地所何々(耕地ノ區畫形狀ヲ變更シ又ハ地目變換ニ際シ工)ニ付前書ノ通り地價
 事至難ニシテ多分ノ勞費ヲ要スル事由ヲ詳記ス)ニ付前書ノ通り地價
 据置年期御許可被成下度此段相願候也
 (以下第二號書式ニ全シ)

備考

耕地ノ區畫形狀ヲ變更スルニ止リ地目變換セサルモノハ地目ヲ墨書シ變換地目ノ
 欄ヲ省クヘシ

(第拾二號)

繳下年期明(新開免租年期明)(地價据置年期明)届

字 地番	地目	反別		元地價地	價地租	本地ノ等級 及反價金歩合	元年期	低價年期
		田	畑					
全筆ノ例	田	元反別	元反別	元反別	元反別	元反別	元反別	元反別
		元生	元生	元生	元生	元生	元生	元生
部分ノ例	畑	元反別	元反別	元反別	元反別	元反別	元反別	元反別
		元生	元生	元生	元生	元生	元生	元生
内	地	元反別	元反別	元反別	元反別	元反別	元反別	元反別
		元生	元生	元生	元生	元生	元生	元生
内	起返	元反別	元反別	元反別	元反別	元反別	元反別	元反別
		元生	元生	元生	元生	元生	元生	元生

右ハ本年荒地免租年期明之處原地價ニ復シ難キニ付低價年期前書ノ通取調候間御許
可被成下度野取調添付此段相願候也

(以下第二號書式ニ全シ)

備考

改租以前ノ荒地ニシテ原地價ナキモノハ額地ニ比準シ價リニ地價ヲ定メ原地價ノ
欄内ニ掲記シ地租ノ下ニ一欄ヲ設ケ比準地番等級及反價金ヲ記入スヘシ

(第十九號甲)

低價年期明屆

低價年期御附與之地處本年期明ニ付反別地價別紙之通り取調候間地價更正相成度此
段御届仕候也

(以下第二號書式ニ全シ)

(第十九號甲附屬)

字 地番	地目	反別		元地價	原地價	原地租	本地ノ等級 及反價金	元低價	元低價年期
		田	畑						
全筆ノ例	田	元反別	元反別	元反別	元反別	元反別	元反別	元反別	元反別
		元生	元生	元生	元生	元生	元生	元生	元生
部分ノ例	畑	元反別	元反別	元反別	元反別	元反別	元反別	元反別	元反別
		元生	元生	元生	元生	元生	元生	元生	元生
内	地	元反別	元反別	元反別	元反別	元反別	元反別	元反別	元反別
		元生	元生	元生	元生	元生	元生	元生	元生
内	期明	元反別	元反別	元反別	元反別	元反別	元反別	元反別	元反別
		元生	元生	元生	元生	元生	元生	元生	元生

低價年期明反別地價取調書

地元

右ノ通ニ候也

(第十九號乙)

低價年期明屆

低價年期御附與之地處本年期明之處何々(原地ニ復シ難キ)ニ付反別地價別紙ノ通り取調候間地價更正相成度此段御届仕候也

(以下第二號書式ニ全シ)

(第十九號乙附屬)

低價年期明反別地價取調書

地元

地租條例
第十三條
及日地租
條例施行
細則第十
條第十

畦畔取除反別地價取調書

地元

四十四

字	地番	地目	反別地	地價	地租	本地等級及反價金
内	元畦畔田	本地	〇	〇	〇	〇
			〇	〇	〇	〇
			〇	〇	〇	〇
			〇	〇	〇	〇
			〇	〇	〇	〇
			〇	〇	〇	〇
			〇	〇	〇	〇
			〇	〇	〇	〇
			〇	〇	〇	〇
			〇	〇	〇	〇

右之通ニ候也

(以下第二號書式ニ全シ)

畦畔設置反別地價取調書

地元

字	地番	地目	反別地	地價	地租	本地等級及反價金
内	畦畔成	殘生地	〇	〇	〇	〇
			〇	〇	〇	〇
			〇	〇	〇	〇
			〇	〇	〇	〇
			〇	〇	〇	〇
			〇	〇	〇	〇
			〇	〇	〇	〇
			〇	〇	〇	〇
			〇	〇	〇	〇
			〇	〇	〇	〇

一筆ノ地目
畔設置ノ例
型ニ付畦
畔設置ノ例

第一	第二	畦畔成
〇	〇	〇
〇	〇	〇
〇	〇	〇
〇	〇	〇
〇	〇	〇
〇	〇	〇
〇	〇	〇
〇	〇	〇
〇	〇	〇
〇	〇	〇

右之通ニ候也

(以下第二號書式ニ全シ)

〇買上地拂下地潰地等收稅除稅區分

明治十年二月
布告第十八號

地租改正後買上地拂下地潰地等收稅除稅區分左之通相定メ候條此旨布告候事

- 第一條 民有地ヲ買上ル時其年分ノ稅ハ買上タル前月分迄月割ヲ以テ收入スヘシ
 - 第二條 官有地ヲ拂下ル時其年分ノ稅ハ拂下タル翌月分ヨリ月割ヲ以テ收入スヘシ
 - 第三條 民有地ヲ官ノ許可ヲ得テ川溝溜池道路堤塘敷其他潰地トナス時ハ工事着手ノ月ヨリ除稅スヘシ一旦著手スルモ若シ工事中止シテ六ヶ月ニ及フモノハ工事ヲ施シタル部分ヲ除キ其中止間ハ除稅ノ限ニアラス十五年布告第三十五號ヲ以テ但書共全條改正
- 但七ヶ月以上ニ渉ルヘキ工事ハ六ヶ月毎ニ其工程ヲ量リ除稅ノ區域ヲ定ムルモノトス

四十五

○地目變換地檢査區域

二十三年二月 愛媛縣告示第二十號

地租條例施行細則第九條ノ地目變換土地檢査區域ヲ左ノ通り相定メ其第一區ヨリ順次檢査ス

- 第一區 宇摩郡 新居郡 周布郡 桑村郡
- 第二區 越智郡 野間郡 風早郡 和氣郡 温泉郡 久米郡
- 第三區 上浮穴郡 下浮穴郡 伊豫郡
- 第四區 喜多郡 西宇和郡
- 第五區 東宇和郡 北宇和郡 南宇和郡

○地租徵收期限

明治十四年二月 布告第十四號

明治十年七月第五十三號布告地租徵收期限之儀明治十四年分ヨリ左之通改定候條此旨 布告候事

但市街地租ノ儀ハ該年七月翌年一月兩期ニ其五分宛テ收納スヘシ

十五年第二十四號 布告ヲ以テ但書改正

○地租徵收期限

十八年第十五號布告ヲ以テ三期以下ヲ改正ス

畑方及宅地山林原野牧場

一期	該年七月一日ヨリ 全 八月卅一日限	全	五分
二期	全 九月一日ヨリ 全 十月卅一日限	田方	五分
三期	該年十一月一日ヨリ 全 十二月十五日限	全	二分五厘
四期	全 十二月十六日ヨリ 翌年一月二十五日限	全	二分五厘
五期	全 一月二十六日ヨリ 全 三月三十一日限	全	二分五厘
六期	全 四月一日ヨリ 全 四月二十日限	全	二分五厘

○土地臺帳規則

明治二十二年三月 勅令第三十九號

明治廿三年五月廿三日
令第六十號
三號ヲ以テ
テ土地臺帳
等ニ關スル
事項ハ府縣
廳ニテ取
扱ハシム
ル旨公布
アリ

朕土地臺帳規則ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

土地臺帳規則

- 第一條 土地臺帳ハ地租ニ關スル事項ヲ登錄ス
- 第二條 市ノ土地臺帳ハ府縣廳ニ於テ町村ノ土地臺帳ハ囑廳郡役所ニ於テ之ヲ設ケ其事務ヲ取扱フヘシ
- 第三條 登記所ニ於テ土地所有ノ移轉及質入ノ登記ヲナシタルトキハ土地臺帳所管廳ニ通知スヘシ
- 第四條 土地臺帳ノ謄本ヲ要スルモノハ土地一筆ニ付金二錢ノ割合ヲ以テ手数料ヲ納ムヘシ
- 第五條 地券ニ記載ノ事項異動ヲ生セサルモノハ其地券ヲ以テ前條ノ謄本ト見做スコトヲ得
- 第六條 本規則ニ關スル細則ハ大藏大臣之ヲ定ム
- 第七條 市制ノ施行ニ至ラサル土地ニ於テハ堅々屬スル土地臺帳ハ區役所ニ於テ其取

扱ヲ爲ヌヘシ

○土地臺帳規則施行細則 明治二十二年四月 大藏省令第六號

勅令第三拾九號土地臺帳規則施行細則左之通相定ム

土地臺帳規則施行細則

- 第一條 土地臺帳ハ市町村ニ區別シ土地ノ字番號地目反別等級地價地租所有者及買取主ノ住所氏名ヲ登錄スヘシ
- 第二條 土地臺帳記載ノ所有者買取主ノ住所氏名ニ異動ヲ生スルキハ其時々之ヲ届出ヘシ
- 第三條 土地臺帳ノ謄本ヲ請求セントスルモノハ其請求書ニ手数料ヲ添ヘ市ハ府縣廳町村ハ囑廳郡役所ニ申出ヘシ
- 第四條 土地臺帳ノ謄本ヲ請求シタルキハ左ノ雛形ノ如ク記載シ之ヲ下附スヘシ

用紙美濃紙三ツ切
土地臺帳謄本

明治 年 月 日	地目		租地	價地	別	段	土地臺帳 ノ番 號	字	地番	國
	地目									
主任官氏名印		名氏處住者有屬		跡年聖開租免見苑		村町				

○地租事務取扱手續

明治二十二年三月
大藏省訓令第十五号

島嶼郡役所ニ關スル地租事務ハ左ノ手續ニ從ヒ取扱ハシムヘシ

但府縣廳ニ於テ本項ノ事務ヲ取扱フ者モ此手續ニ依ルヘシ

島嶼及收稅部出張所地租事務取扱手續

明治廿二年六月大藏省訓令
第四十五號ヲ以テ名稱改正

第一條

地租ニ關スル願屆書ハ其筆限字番號地目反別等級地價地租及所有者氏名ヲ土地臺帳及地圖ニ照査シ主任官之ニ檢印シ處分ノ手續ヲ爲スヘシ
明治二十二年六月大藏省訓令第四十五號

ヲ以テ

改正

地租ニ關スル定期及臨時檢査ハ既定ノ手續ニ從ヒ收稅部出張所ニ於テ取扱ハシムヘシ

但島嶼所轄ニ係ルモノハ從前ノ通

第二條

土地ノ分合筆ニ關スル願屆書ニシテ反別地價ノ分配合併其當ヲ得ルモノハ收稅部出張所ニ於テハ其處分ノ手續ヲ爲シ島嶼ニ於テハ直ニ之ヲ許可スヘシ
全

第三條

前二條ノ指令書ハ市長村長ヲ經テ下附ノ手續ヲ爲シ直ニ土地臺帳地圖及地租臺帳ヲ整理スヘシ
全

第四條

土地所有ノ移轉又ハ質入及其解約ニ係ル登記所ノ通知ヲ得タルトキ並ニ住所氏名異動ノ届出ヲ得タルトキハ直ニ土地臺帳ヲ訂正スヘシ

第五條 前條ノ訂正ヲ經テモノハ納期毎ニ納租者異動表ヲ作り各納期三十日以前之ヲ町村長ニ通報スヘシ其以後納期末日迄ニ係リモノハ其時々之ヲ通報スヘシ

第六條 土地臺帳ノ謄本ヲ請フモノアルトキハ即日之ヲ下附スヘシ

第七條 地租ノ前年ニ溯リ徴収スヘキモノハ明治十七年當省第八十九號達地租帳簿樣式第一號附屬表ニ准シ追加地租臺帳ヲ調製シ之ニ記入スヘシ

第八條 毎年一月ニ於テ土地臺帳總計上ニ就キ前年中ノ異動ヲ加除シ之ヲ地租臺帳ニ照合シ明治二十年當省訓令第五十號和稅計算整理順序附屬第一號一乃至四ノ樣式ニ準シ地租表ヲ調製シ二月十五日限ニ府縣知事ニ申報スヘシ但シ地租追加ニ係ルモノモ本表ト共ニ申報スヘシ
明治二十二年六月大藏省訓令第四十五號ヲ以テ改正

○土地分合筆ニ關スル心得方縣令

明治二十三年二月 愛媛縣令第十五號

土地分合筆ニ關スル心得方左之通之ヲ定ム

但明治二十二年縣令第四十一號ハ廢止ス

第一條 一筆ノ土地ヲ分製シ又ハ二筆以上ノ土地ヲ合併セシトスルモノハ其旨取圖ヲ

添ヘ左ノ事項ヲ記載シ地元市町村長ヲ經テ願出ヘシ但字地目ヲ異ニシ又ハ道路溝渠等ヲ隔タル土地ハ合併スルコト得ス

一分製合併スヘキ地ノ字、番號、地目、等級、反別、地價、地租及市町村名、大字

二分製合併セシ所ノ反別、地價、地租、及二分製地價引分ケニ用フル等級一反步當リ

地價金

第二條 土地ヲ分合シテ賣買讓與質入ヲ爲サントスルモノハ其登記請求前ニ於テ前條ノ手續ヲ爲スヘシ

第三條 一筆ノ土地ヲ分製スルニハ其一方ヲ丈量シテ反別ヲ求メ其地價ヲ定メ全筆ノ内ヨリ之ヲ扣除シ其殘餘ヲ以テ他ノ一方ノ反別地價トス

第四條 二筆以上ノ土地ヲ合併スルトキ其反別地價ハ土地臺帳ニ登記ノ員額ヲ合算スルモノトス

第五條 市町村長第一條ノ願書ヲ受領シタルトキハ與書ヲナシ之ヲ稅部出張所ニ送付スヘシ若シ其反別地價ノ分配上不適當ト認ムルトキハ實地臨檢ノ上其旨ヲ說示シ承服セサルトキハ意見ヲ具シ副申スヘシ

正誤

三丁初行(同上)同上ノ誤全丁十三行目(ヌル)(ヌル)ノ誤五丁七行目(一類)(一類)ノ誤六丁三行目(シル)(シル)ノ誤全丁十二行目(第一類ノ下地ノ字ヲ脱ス全行)其(一)(其地)ノ誤九丁末行(處)(處)ノ誤十一丁三行目(牧畜場用)(牧畜用)ノ誤十二丁四行目(換査)(換査)ノ誤十五丁五行(追次)(遞次)ノ誤十七丁上欄末行(ナシ)(ナシ)ノ誤十九丁四行目(鐵下ノ下ノ欄ノ字ヲ脱ス全丁五行下(第十五號)(全第十五號)ノ誤丈量野取圖第一圖ノ内(タイハン)ノ下(長)ノ字ヲ脱ス二十四丁(第四號附屬表)ノ内四欄目三段(丈量増)(丈量減)ノ誤二十五丁七行目(取調候間ノ下(免)ノ字ヲ脱ス全丁十一行目(取ハス)(及ハス)ノ誤三十丁第九號表ノ内三欄目反別地價地租ノ(○)ハ皆恣同表末欄(ハ)ハ(ハ)ノ誤三十三丁第十二號附屬乙表(反明)(明反)ノ誤三十四丁十一行目(下成)(成下)ノ誤三十五丁上第十五號表ノ内見出七欄目(地番等級ノ下)及(ノ字ヲ脱ス三十六丁初行(開墾)ノ下(地)ハ恣全丁上欄(部中)(部分)ノ誤三十五丁十三行目(成被)(被成)ノ誤三十六丁七行目(年租)(免租)ノ誤(成被)(被成)ノ誤三十八丁二欄目(元地價ノ欄)ノ(ハ)ノ(ハ)ノ誤四十二丁十一行目(當原地)(尙原地)ノ誤四十八丁上欄(廿三年)(廿二年)ノ誤全丁末行(區々)(區)ノ誤五十一丁十行目(市長村長)(市町村長)ノ誤五十二丁五行目(表)(表)ノ誤

明治廿三年四月十二日印刷

明治廿三年四月十二日出版屆

正價金六錢

著作者兼發行者

愛媛縣松山市大字西町
貳拾八番戶士族
中川 義清

印刷者

愛媛縣松山市大字西町
十一番戶
山本 盛信

發行所 向陽社

全

正誤

三丁初行(同上)ハ同上ノ誤全丁十三行目(ヌル)ハ(ヌル)ノ誤五丁七行目(一類)ハ(一類)ノ誤六丁三行目(シル)ハ(タル)ノ誤全丁十二行目(第一類ノ下地)ノ字ヲ脱ス全行(其)ハ(其地)ノ誤九丁末行(處)ハ(處)ノ誤十一丁三行目(牧畜場用)ハ(牧畜用)ノ誤十二丁四行目(換査)ハ(換査)ノ誤十五丁五行(追次)ハ(遞次)ノ誤十七丁上欄末行(ナ)ハ(ナラ)ノ誤十九丁四行目(歛下)ノ下ニ繼ノ字ヲ脱ス全丁五行下(第十五號)ハ(全第十五號)ノ誤丈量野取圖第一圖ノ内(ケイハン)ノ下(長)ノ字ヲ脱ス二十四丁(第四號附屬表)ノ内四欄目三段(丈量増)ハ(丈量減)ノ誤二十五丁七行目(取調候間)ノ下(免)ノ字ヲ脱ス全丁十一行目(取ハス)ハ(及ハス)ノ誤三十丁第九號表ノ内三欄目(反別地價地租)ノ(○)ハ皆惣同表末欄(○)ハ(○)ノ誤三十三丁第十二號附屬乙表(反明)ハ(明反)ノ誤三十四丁十一行目(下成)ハ(成下)ノ誤三十五丁上第十五號表ノ内見出七欄目(地番等級)ノ下(及)ノ字ヲ脱ス三十六丁初行(開墾)ノ下(地)ハ惣全丁上欄(部中)ハ(部分)ノ誤三十五丁十三行目(成被)ハ(被成)ノ誤三十六丁七行目(年租)ハ(免租)ノ誤(成被)ハ(被成)ノ誤三十八丁二欄目(元地價ノ欄)ハ(○)ハ(○)ノ誤四十一丁十一行目(當原地)ハ(尙原地)ノ誤四十八丁上欄(廿三年)ハ(廿二年)ノ誤全丁末行(區々)ハ(區)ノ誤五十一丁十行目(市長)ハ(市町)ノ誤五十二丁五行目(表)ハ(表)ノ誤

明治廿三年四月十二日印刷

明治廿三年四月十二日出版届

正價金六錢

著作者兼發行者

中川義清

愛媛縣松山市大字西町
貳拾八番戶士族

印刷者

山本盛信

愛媛縣松山市大字榎町
十一番戶

發行所向陽社

全

